

MPD の使い方

2015 年 6 月 5 日

1 MPD とは

Music Player Daemon(ミュージック・プレイヤー・デーモン) は Linux や各種 UNIX 上で動作する、音楽再生やプレイリスト管理を行う為のデーモン。よく MPD と略される。ローカルホストだけではなくネットワーク上のディレクトリにある楽曲も再生可能。MPD 自体は単なるデーモンなので、通常は MPD クライアントと呼ばれるフロントエンド・アプリケーションと併用される。(単体での使用もまったく不可能ではないが、音楽再生アプリケーションとして使用するには非現実的である) 2008 年現在、コンソール上で動作する最低限の機能だけを備えた CLI アプリケーションから、Amarok や Rhythmbox に似た多数の機能を備えたものまで多種多様な MPD クライアントが開発されている。^{*1}

2 MPD サーバーの設定

2.1 MPD のインストール

サーバー側の PC に MPD をインストールする。Ubuntu などの Debian 系のディストリビューションの場合は、"Ubuntu ソフトウェアセンター"または"Synaptic"で"MPD"と検索してインストール。

2.2 MPD の設定

2.2.1 mpd.conf の設定

"/etc/mpd.conf"が MPD の設定ファイルなので、これを編集する。

コマンド

```
$ cd /etc/ "ディレクトリ移動"
$ sudo vim mpd.conf
```

〇〇行目の を編集

^{*1} http://ja.wikipedia.org/wiki/Music_Player_Daemon

2.3 音楽データが保存されているディレクトリへのシンボリックリンクを作成

音楽データの保存先はデフォルトで”/var/lib/mpd/music”になっている。そこから”/home/ユーザ名/Music/”にアクセスできるようにシンボリックリンクを作成する。

コマンド

```
$ cd /var/lib/mpd/music/ "ディレクトリ移動"
$ sudo ln -s /home/ユーザ名/Music/ Music "シンボリックリンクの作成"
```

2.4 作成したシンボリックリンクに対してアクセス権を変更する

デフォルトでは、音楽データが保存されているディレクトリにアクセスできない。そのため、音楽データが保存されているディレクトリにアクセス権を付加する。

コマンド

```
$ sudo chmod -R 755 Music "シンボリックリンク" Music "に対してアクセス権を付加"
```

これで、音楽データが保存されているディレクトリにアクセスできるようになる。

2.5 MPD の再起動

MPD を再起動する。

コマンド

```
$ sudo /etc/init.d/mpd restart "MPD の再起動"
```

3 MPD クライアントの設定

3.1 クライアントソフトのインストール

MPD クライアントソフトをインストールする。

3.1.1 Ubuntu などの Debian 系のディストリビューションの場合

”Ario”がおすすめ。 ”Ubuntu ソフトウェアセンター”または”Synaptic”で”Ario”と検索してインストール。

3.1.2 Windows の場合

”Auremo”がおすすめ。 ”<https://code.google.com/p/auremo/downloads/list>”から” Auremo-バージョン名-installer.exe”というファイル名のものをダウンロードしインストールする。

3.2 基本操作

どのソフトにもサーバーにアクセスするために IP アドレスを入力する欄がある。そこに、サーバーの IP アドレスを入力すれば、サーバーの音楽データが保存されているディレクトリにアクセスできるようになる。

4 曲データの転送

現在の設定では、自分が用意した音楽データをサーバー PC に保存しておく必要がある。USB メモリなどを利用してサーバー PC の音楽データを保存しているディレクトリ (/home/ユーザー名/Music/) に保存しても良いが、サーバー PC では ssh が利用できるのも、クライアントソフトを利用して、ネットワーク越しにデータを転送する方が良い。

4.1 クライアントソフトのインストール

4.1.1 Ubuntu などの Debian 系のディストリビューションの場合

”FileZilla”がおすすめ。”Ubuntu ソフトウェアセンター”または”Synaptic”で”FileZilla”と検索してインストール。

4.1.2 Windows の場合

”WinSCP”がおすすめ。”<http://www.forest.impress.co.jp/library/software/winscp/>”などからダウンロードしてインストールする。

4.2 接続方法

”転送プロトコル”に”SFTP”を、”サーバー”にサーバー PC の IP アドレスを、”ユーザー”と”パスワード”に”music”を入力する。WinSCP の場合、日本語のファイルでは文字化けとなったり、転送しても認識されなかったりするので、”設定”から”文字コードを UTF-8 にする”という項目をオンにする。

4.3 転送方法

ログインを押すと左側に自分の PC のディレクトリ、右側にサーバー PC のディレクトリが表示される。左側の画面から転送したい音楽データを選択し、右側の音楽データを保存しているディレクトリにドラッグ・アンド・ドロップする。

5 その他

5.1 外部 HDD のマウント方法

外部 HDD は、PC 起動時に自動でマウントできるようにしておくとう便利。

5.1.1 外部 HDD の Music ディレクトリをホームの Music にマウントする

外部 HDD の Music ディレクトリをホームの Music ディレクトリにマウントします。これには、root 権限で、”/etc/fstab”を編集します。

コマンド

```
$ sudo vim /etc/fstab ”fstab の編集
```

最後ぐらいに以下を追加します。

```
/dev/sda4 /home/shige/Music vfat rw,iocharset=utf8 0 0
```

最初の/dev/sda4 は音楽ファイルが保存されている HDD、/home/shige/Music はマウント先、vfat は fat32 形式を表しており、rw,iocharset=utf8 はオプションで iocharset=utf8 は記述しないと日本語が文字化けするので必ず記述するようにしてください。0 0 はとりあえず記述しておいてください。

コマンド

```
$ sudo mount -a
```

を実行し、ホームの Music ディレクトリに外部 HDD の Music ディレクトリがマウントされていれば OK です。その後、/home/shige/Music に対するシンボリックを/var/lib/mpd/music/に作成し、作成したシンボリックに対して、権限を付加してください。

5.2 DHCP で利用する際に便利な方法

IP アドレスを自動で取得する DHCP では、起動してインターネットに接続するごとに IP アドレスが変わってしまうことがある。しかし、そこで avahi-daemon という仕組みを利用することで、IP アドレスではなく、名前でアクセスすることが可能となる。詳しくはこちら → <http://gitter.matrix.jp/voyage-mpd-main/tips-for-voyage-mpd/zeroconf-setting-of-voyage-mpd-using-avahi/>